

山口宇部 医療センター だより



きらら浜自然観察公園から望む「きららドーム」と「日の山」（当院は、この向こう側にあります。）

理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

基本方針

1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
5. 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。



独立行政法人 国立病院機構

山口宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241

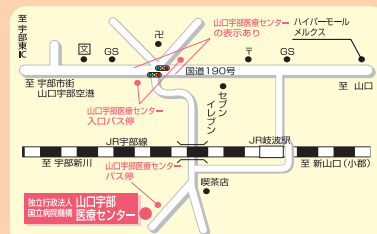
山口県宇部市東岐波685番地

TEL.0836-58-2300(代)

FAX.0836-58-5219



<http://www.yamaguchi-hosp.jp/>



ふるさと元気懇談会を経て

リハビリテーション科 理学療法士 石光 雄太

8月7日に、宇部市保健センターの皆様から御推薦を頂き、同市の企画する「ふるさと元気懇談会」へ参加させて頂きました。

会議の目的としては「健康長寿のまちづくりについて～コロナ禍における健康づくり～」を主題にし、久保田市長を始め、健康福祉部部長、健康福祉部参事など市の職員、自治会の副会長、恩田地区コミュニティ推進協議会の事務局次長などが参加され、それぞれの活動報告と今後の課題について協議しました。

私はその中で、普段関わらせて頂いている健康づくりサポーターバンク制度での活動報告や、緊急事態宣言による生活状況の変化をアンケート調査した結果を報告させて頂きました。

アンケートの結果から、緊急事態宣言前である3月上旬ごろより、生活に影響が出ていたことが分かり、主に通院や買い物などの移動時に制限を感じていたことがわかりました。

また緊急事態宣言中、食事量や睡眠量は変わっていないものの、運動機会・量が4割以上の方で減少し、体重が増加傾向かつ、疲れやすさを自覚される方が増えていることがわかりました。

さらに運動などの活動機会の減少はコミュニケーションにも影響を及ぼしていることが分かり、友人や家族といった身近な方とのコミュニケーションであっても、5割以上の方が、減少していたと回答されました。

上記を踏まえ、従来行ってきた運動・栄養・睡眠・当院の特色からの呼吸器の指導に加え、「こころの健康予防」という問題が重要と感じました。感染症対策は勿論必須ではありますが、人とひとの繋がりを断ち切

るべきではありません。保健師や地域の住民と密な連携を取り、十分な感染症対策を行った上で活動の場を提供していくことは、おのずと健康意識の増進へとつながることが考えられます。

また市長からも状況を鑑み、オンラインでの活動が出来るように地域ごとにタブレットの配置などを実施していく。と力強いお言葉を頂くことができましたので、今後とも市の健康増進に対し、尽力していく所存です。

※会議の議事録は市のHPの中で「ふるさと元気懇談会」と検索することで閲覧可能です。



新採用 医師紹介



呼吸器内科医師・呼吸器内科

松田 和樹

(まつだ・かずき)

呼吸器内科疾患全般を診療します。患者さん一人一人に寄り添い診療する様に心掛けます。

きらら病棟 オンライン面会

児童指導員 國志 朋佳

令和2年9月より、新型コロナウイルス流行のため、きらら病棟では県外にお住まいのご家族や来院が困難なご家族に対して、オンライン面会を開始することになりました。

通信機器はiPhoneを使用しています。オンライン面会を希望されるご家族には、Skypeのアプリをダウンロード・登録していただきます。そして、当院との通信接続を確認後、オンライン面会日に実施となります。より大きな画面や音声でご家族と面会していただくため、利用者さんのそばにテレビやスピーカーを準備しています。

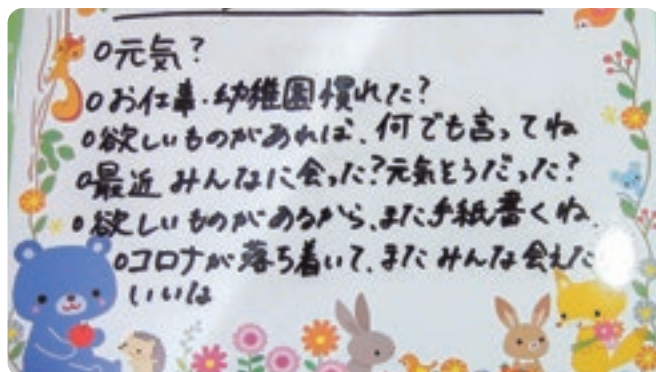
オンライン面会前から、しばらくお会いしていない家族とお話ができると知り、「話したいことがたくさんある！」とホワイトボードいっぱいの「話したい事リスト」を用意され面会にのぞまれる方もいらっしゃいました。

みなさん最初は姿が見えないのに家族の声がするため、きょろきょろと周りの様子をうかがっておられました。画面にご家族が映るとジーッと見つめられていました。ご家族からの声掛けや手を振られる姿を見て、表情を柔らかくし声を出されてお返事

されたり、手を動かし応えられたりと交流を楽しまれています。

オンライン面会をするにあたって、機械操作やアプリの設定が困難なご家族にどのように設定をしていただくか、また利用者さんがリラックスしてご家族と面会できる姿勢や環境の設定、人工呼吸器と通信機器との安全な距離の確保などの課題があります。そのため、利用者さん一人一人に合った環境等を他職種と相談し、連携を図りながら引き続き安全に配慮して実施していきます。今後もオンライン面会を家族と交流するための一つのツールとして活用していただければと思います。

先の見えない日々が続きますが、いつでも話をしたり触れ合ったりできる、そんな日常が早く戻ってきますように。



オンライン面会の様子

還暦を祝う会

児童指導員 猪野 沙綾



令和2年9月9日(水)にきらら病棟ダイルームにて「還暦を祝う会」を行いました。

今年度はきらら西病棟から2名の利用者が還暦を迎えられました。ご家族の参加は、新型コロナウイルスの影響により叶わず、職員のみでのお祝い会となりました(ご家族には、祝う会の様子をDVDにしてお渡しする予定です)。

大きな拍手に迎えられながら還暦者が会場に入場し、還暦を祝う会が始まりました。

院長からのお祝いメッセージをはじめ、大きなくす玉を割ったり、主治医や病棟代表者からのお祝いメッセージ、それぞれをイメージした歌を聞いたり、和やかな雰囲気の中で祝う会は進んでいきました。還暦までを振り返る思い出のムービーでは、映像をジッと見つめ、時には涙を流して映像を楽しまれているようでした。そして、還暦を祝して日本酒ゼリーで乾杯を行うと、久しぶりに味わう日本酒の味に表情が変わり、美味しそうに食べられていました。祝う会の締めくくり

に、ご家族や受け持ち看護師からのお祝いメッセージが読まれると、真剣な表情で聞かれ再び涙ぐまれました。

歌あり、涙ありの和やかな雰囲気の中、お祝いをすることができました。還暦おめでとうございます！！





楽しかった
きらら病棟の

秋行事!

保育士 早崎 典子

令和2年10月14日(水)、秋行事「秋だ！祭りだ！わっしょいわっしょい！」を行いました。「きらら村に秋がやってきました」から始まった秋祭り、それぞれ療育活動で作った野菜や果物を持ってお祭り会場に集まりました。秋行事を楽しみにしながら、色画用紙を使って一人ひとり心を込めて作った野菜や果物は、とても工夫されていて会場を更に明るくしてくれました。それを一人ひとり奉納し、いよいよお祭りのスタートです！！

きらら村自慢のお神輿の登場をみんなでワクワクしながら待っていると、村の若い衆から「お神輿が盗まれた！」との知らせが入り、お祭り会場はザワザワとし始めました。お神輿を盗んだ“怪盗さぶちゃん”から「返してほしければ、わしが考えたミッションに挑戦するのだ」との手紙が！そのミッションはなんと、“どきどき餅まきチャレンジ”！山口県といえば餅まきという位、山口県民は餅まきが大好きです。会場に餅がまかれると、会場中に笑顔と歓声が溢れ、餅まきを初めて体験される皆さんもスタッフと一緒にたくさんのお餅を拾っておられました。怪盗さぶちゃんも、みんなが拾ったたくさんのお餅を見てビックリ！無事にお神輿も返してくれました。

そして、きらら村の秋祭りのフィナーレは、北島三郎さんの「祭」に合わせて、みんなで銭太鼓を振りながらの踊り！お神輿も会場内を練り歩き、怪盗さぶちゃんもみんなの輪の中で楽しく踊り、会場はこの日一番の盛り上がりとなりました。



新型コロナウイルスの影響で、各地のお祭りも自粛ムードで少し寂しい秋ですが、きらら病棟の秋祭りは、みんなで元気いっぱいとても賑やかでした。



飲食スペースのご案内 (eating space)



外来管理診療棟の放射線科受付前に飲食スペース(eating space)を設置しました。

天気の良い日のロケーションは最高です。お弁当を食べる際など、お気軽にご利用ください。

●ご利用時間
8:30~17:00



病院機能評価の 審査に合格しました

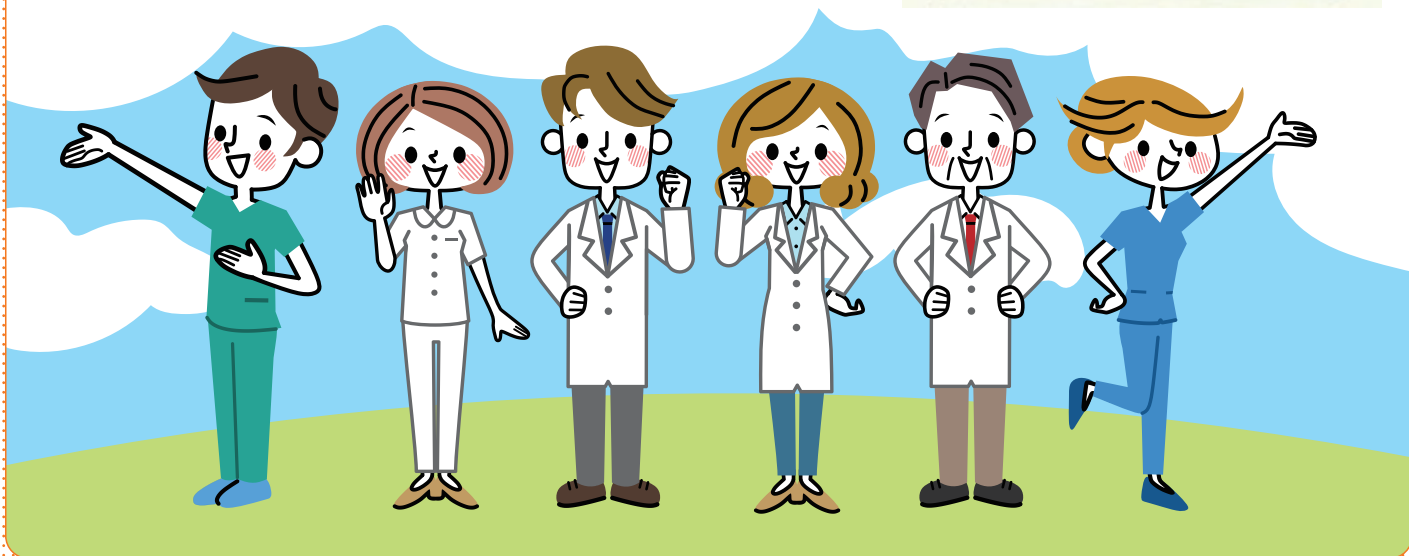
管理課長 石橋 健治

病院機能評価は、「病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組み」です。中立・公平な立場にある評価調査者が所定評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。

当院は日本医療機能評価機構の認定病院ですが、今年の2月に2日間の更新審査を受け、一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）、機能種別版評価評価項目3rdG: Ver.2.0の部門で審査に合格し、今回で4回目の認定を受けることが出来ました。

病院機能評価のバージョンが上がるにつれ、評価基準は年々難しくなっていることもあり、これまで以上に職員一丸となって病院組織の運営と地域における役割、患者の権利と安全確保、療養環境と患者サービス等のあらゆる問題点を見直し、改善を行いました。

今回の評価をもとに更に信頼され親しまれる病院を目指した医療を提供できるよう、引き続き努力を続けてまいります。



正面玄関の解錠時間について

令和2年9月1日より、正面玄関の解錠時間を下記の通り変更しています。
なお、土・日・祝日は終日施錠しています。

解錠
時間

7:00 ~ 19:00 ▶▶ 8:00 ~ 19:00

外来診療担当医表

令和2年11月1日 現在

診療科	概要	月	火	水	木	金
内科新患外来		担当医	担当医	水津 純輝	原田 美沙	角川 智之
内科紹介外来			亀井 治人	亀井 治人		亀井 治人
内 科			石田 浩一			石田 浩一
呼吸器内科		坂本 健次 伊藤 光佑	恐田 尚幸 松田 和樹	池田 顕彦 恐田 尚幸 末竹 諒 松田 和樹	池田 顕彦 大石 景士 村田 順之 伊藤 光佑	上原 翔 末竹 諒
腫瘍内科	抗がん剤治療 肺がん等	前田 忠士 近森 研一	青江 啓介 宇都宮 利彰	近森 研一	前田 忠士 宇都宮 利彰	青江 啓介
画像診断科	画像診断等		松本 常男			松本 常男
呼吸器外科新患外来		井野川 英利		沖田 理貴	林 雅太郎	
呼吸器外科・外科	肺がん	林 雅太郎 沖田 理貴 岡田 真典 川本 常喬		井野川 英利 林 雅太郎 岡田 真典 川本 常喬	井野川 英利 沖田 理貴 川本 常喬	
乳腺・消化器外科	胃がん・ 大腸がん等			平澤 克敏		平澤 克敏 (午後・新患のみ)
循環器内科	心臓・高血圧等	佐伯 幸男		佐伯 幸男		
緩和ケア内科	※完全予約制	小笠原 啓子	谷川 明希子		小笠原 啓子	
放射線科	画像診断・ 放射線治療等	田中 伸幸 田口 耕太郎 小林 大河	田中 伸幸 田口 耕太郎 小林 大河	田中 伸幸 田口 耕太郎 小林 大河	田中 伸幸 田口 耕太郎 小林 大河	田中 伸幸 田口 耕太郎 小林 大河
小 児 科	障害児外来 ※紹介予約患者のみ 診察			奥田 裕美		沖野 文子
精神・神経内科	てんかん等	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘

※下記診療科は入院患者のみ診療

消化器内科	内視鏡等		山本 直樹			
整形外科	リウマチ・骨粗鬆症等					今城 靖明
歯 科				竹縄 隆徳		原田 耕志
耳鼻いんこう科				樽本 俊介		
神経内科				山中 菜々美		

① 外来受付時間: 午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間: 午前8時45分～】

※内科新患外来: 午前9時30分～11時00分 / 内科紹介外来: 午前9時00分～11時00分

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CT及び核医学(シンチグラム)の外来紹介は、地域医療連携室(内線2452)までご連絡ください。

患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで

地域医療連携室

受付時間 / 毎週月～金曜日まで 8時30分～17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938

